

慶野 常夫 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答

クビアカツヤカミキリ
について



Q 外来種であるクビアカツヤカミキリが平成24年に日本国内で初めて発見されて以来、全国各地に次々と分布し、拡大し、街路樹や果樹園で被害が出ている。

吾妻地区には、モモ、ナシの直売所の「佐野フルーツライン」があり、この果樹園農家の方々や市内全ての果樹園農家でも大変被害を受けている状態である。本市ではクビアカツヤカミキリの駆除対策として、支援等はあるのか。もしなければ今後支援等を行えないものか伺いたい。

A 市民生活部長

30年度より栃木県が発生状況調査を開始しましたので、今後は栃木県及び近隣市と連携を図り、発生状況等を把握しながら、駆除対策に対する支援等について対応を考えていきたいと思っています。

その他の質問

- ☆佐野市市有施設適正配置計画について
- ☆佐野市地域公共交通網形成計画について



▲ クビアカツヤカミキリ

菅原 達 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答

※SDGsの推進と森林・林業の主流化
について



Q SDGs※実施指針の優先課題⑥には、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するための具体的な取り組みが盛り込まれている。森林保護と両立させながら、林業の成長産業化を積極的に推進すべきであり、30年度策定予定の産業立市推進基本計画にできる限り反映させてもらいたい、いかがか。

A 産業文化部長

佐野市の豊富な森林資源を生かし、木材を有効活用することはもちろんのこと、観光や教育などの林業以外の分野とも連携しながら、広く市民の理解を得た新たな森林産業の創出を図ることも産業立市の推進につながるものと考えていますので、今後策定予定の産業立市推進基本計画の中で、重視すべき取り組み課題の一つとして多角的に検討していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆地域防災力の強化と災害発生時の体制強化について
- ☆健康寿命延伸の対策と保健師の役割の見直しについて

※SDGs(イスティーゼス)・・・2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された2030年を年限とする17の国際目標。
※実施指針の優先課題⑥・・・日本政府が策定したSDGsに対応する指針の⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全のこと。

山菅 直己 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答

ごみの集積などの迷惑な現状について



Q 鉢木町地内に6年ほど前からごみを屋敷の中にため込んでいる住宅があり、側溝や歩道にもごみが積まれている。今までも3、4カ所で同じ人が集積している。今後も、ごみがいっぱいになれば他のところへ行つてやるのではないかと思っている。近所に住まれている方の迷惑を考え、行政代執行を考える必要があるが、市の考えは。

A 市民生活部長

現在、佐野市では条例の規定がないため、いわゆるごみ屋敷に対して行政代執行を行うことはできませんが、今後効果的なごみ屋敷対策が行えるよう、行政代執行も可能とする条例の制定等に向けて取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

- ☆市のイメージアップ・誘客について
- ☆葛生地区における中山間地域の活性化について

